



平成 22 年 8 月 10 日

各 位

会社名 アビリット株式会社
 代表者 代表取締役社長 濱野 雅弘
 (コード番号 6423 東証・大証第1部)

問合せ先
 責任者 管理副本部長 光森 孝善
 T E L (0 6) 6 2 4 3 - 7 7 7 0

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 22 年 12 月期第 2 四半期累計期間及び通期における業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日) (百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,200	△900	△1,000	△1,300	△33円08銭
今回修正予想 (B)	2,182	△1,175	△1,176	△1,453	△36円81銭
増減額 (B-A)	△2,018	△275	△176	△153	—
増減率 (%)	△48.0%	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成 21 年 12 月期第 2 四半期)	3,998	△921	△984	△1,249	△36円13銭

(2) 通 期 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日) (百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	21,300	2,200	2,000	1,700	42円16銭
今回修正予想 (B)	12,000	△970	△1,060	△1,350	△34円18銭
増減額 (B-A)	△9,300	△3,170	△3,060	△3,050	—
増減率 (%)	△43.7%	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 21 年 12 月期)	6,308	△2,966	△3,119	△5,123	△144円98銭

2. 平成 22 年 12 月期 個別業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日) (百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,100	△900	△1,000	△1,300	△33円08銭
今回修正予想 (B)	2,031	△1,070	△1,072	△1,375	△34円81銭
増減額 (B-A)	△2,069	△170	△72	△75	—
増減率 (%)	△50.5%	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成 21 年 12 月期第 2 四半期)	3,851	△891	△917	△1,208	△34円96銭

(2) 通 期 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日) (百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	20,700	1,700	1,600	1,300	32円24銭
今回修正予想 (B)	11,800	△990	△1,040	△1,350	△34円18銭
増減額 (B-A)	△8,900	△2,690	△2,640	△2,650	—
増減率 (%)	△43.0%	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 21 年 12 月期)	6,061	△2,805	△2,870	△4,840	△136円95銭

3. 修正の理由

(1) 平成 22 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）

〔連 結〕

本年 6 月初旬より納品を開始いたしましたパチスロ遊技機『コウヘイ最凶伝～地獄の閻魔覚醒の刻～』につきまして、納品日以降の販売も視野に入れたロングテール型の販売計画を立てており、現在も遊技者の皆様からは好評を頂いております。しかしながら、『コウヘイ最凶伝～地獄の閻魔覚醒の刻～』の販売直前に突如発生しました当社パチスロ遊技機に対するゴト事案の影響が大きく、当初の計画に対する当第 2 四半期末までの同機販売台数は伸び悩んでおります。

また、当該ゴト事案発生に伴い実施いたしました『コウヘイ最凶伝～地獄の閻魔覚醒の刻～』販売時における特別下取り施策等が、販売単価の下落等、当第 2 四半期の売上高、収益に影響を及ぼしました。

以上により、前回発表の計画より売上高が 2,018 百万円の減少、それに伴い営業利益 275 百万円、経常利益 176 百万円、当期純利益 153 百万円、それぞれ減少する見込みであります。

〔個 別〕

上記、連結と同様の理由によるものであります。

(2) 平成 22 年 12 月期通期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

〔連 結〕

上記 3. (1) 〔連結〕に記載いたしました理由に加え、当初の通期計画策定時において、業界分析等から「今期、パチンコ遊技機にも重点を置きつつ、パチスロ遊技機については大型版權遊技機を核とする」計画としたものの、その後の業界トレンドや環境の変化等の発生に伴い、それらにマッチさせるべく行っております新筐体パチンコの再取組み等により、下期販売計画を変更せざるを得ない状況となりました。

具体的には、下期に満を持して市場投入を計画していた新筐体のパチンコ遊技機、パチスロ遊技機につきまして、更なる市場へのニーズにマッチするクオリティに注力してまいりましたが、結果といたしまして、新機種の様式取得が当初予定より遅延することとなり、よって一部機種の販売予定時期が本年秋に開催される A P E C に伴う遊技機入替え自粛期間（都道府県により異なるが、10 月初旬～12 月初旬）と重なってしまうため、それらの市場投入時期を適宜延期することとした等の理由から、通期計画につきましても修正せざるを得ない状況となりました。

以上により、前回発表の計画より売上高が 9,300 百万円の減少、それに伴い営業利益 3,170 百万円、経常利益 3,060 百万円、当期純利益 3,050 百万円、それぞれ減少する見込みであります。

〔個 別〕

上記、連結と同様の理由によるものであります。

以 上

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、業況の変化等により、この資料に記載されている予想と異なる場合があります。